2025年３月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年５月15日

上 場 会 社 名	株式会社モスフードサービス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8153	URL	https://www.mos.co.jp/company/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長 執行役員	(氏名) 中村　栄輔	
問合せ先責任者	(役職名) 経営サポート本部長 兼 人材戦略部長	(氏名) 川越　　勉	(TEL) 03-5487-7371
定時株主総会開催予定日	2025年６月25日	配当支払開始予定日	2025年６月26日
有価証券報告書提出予定日	2025年６月23日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．2025年３月期の連結業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	96,185	3.4	5,223	24.8	5,569	26.8	3,150	22.4
2024年３月期	93,058	9.4	4,185	―	4,392	―	2,573	―

(注) 包括利益　　2025年３月期　3,130百万円(△35.9%)　　2024年３月期　4,879百万円(　　―%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年３月期	102.10	―	6.0	6.9	5.4
2024年３月期	83.45	―	5.2	5.7	4.5

(参考) 持分法投資損益　　2025年３月期　19百万円　　2024年３月期　△50百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	80,576	54,326	67.1	1,751.71
2024年３月期	79,711	52,086	65.0	1,680.16

(参考) 自己資本　　2025年３月期　54,047百万円　　2024年３月期　51,830百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年３月期	7,346	△1,642	△3,730	25,287
2024年３月期	10,160	△2,135	△3,944	23,155

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年３月期	―	14.00	―	14.00	28.00	875	33.6	1.7
2025年３月期	―	15.00	―	15.00	30.00	939	29.4	1.7
2026年３月期(予想)	―	15.00	―	15.00	30.00		31.9	

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	97,000	0.8	5,250	0.5	5,450	△2.1	2,900	△7.9	94.00

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期	32,009,910株	2024年３月期	32,009,910株
②　期末自己株式数	2025年３月期	1,155,968株	2024年３月期	1,161,554株
③　期中平均株式数	2025年３月期	30,852,596株	2024年３月期	30,844,700株

（参考）　個別業績の概要

１．2025年３月期の個別業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	69,153	4.3	4,917	5.7	4,798	7.9	3,058	△14.7
2024年３月期	66,281	10.9	4,652	954.5	4,447	―	3,587	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期	98.13	―
2024年３月期	115.13	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	69,314	46,815	67.5	1,501.82
2024年３月期	66,194	45,302	68.4	1,453.64

（参考）自己資本　　2025年３月期　46,815百万円　　2024年３月期　45,302百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．７「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 6
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 6
（４）今後の見通し …… 7
（５）利益配分に関する基本方針及び当期の配当 …… 7
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 7
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 8
（１）連結貸借対照表 …… 8
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 10
連結損益計算書 …… 10
連結包括利益計算書 …… 11
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 12
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 14
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 16
（継続企業の前提に関する注記） …… 16
（表示方法の変更） …… 16
（追加情報） …… 16
（セグメント情報等） …… 17
（１株当たり情報） …… 20
（重要な後発事象） …… 20
４．個別財務諸表 …… 21
（１）貸借対照表 …… 21
（２）損益計算書 …… 23
（３）株主資本等変動計算書 …… 24

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の拡大により外食需要の回復が見られました。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、原材料及びエネルギー価格の高止まりや為替変動による調達費用の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、基幹事業である国内モスバーガー事業においては、消費の二極化に対応した商品として、プレミアム価格帯の新たな定番商品や期間限定商品を発売いたしました。レギュラー価格帯を含めた価格のグラデーション化によりお客様の選択肢を増やすことで、より幅広い層のお客様の獲得に繋がりました。さらに、全社的に費用対効果を意識することで販管費の抑制を徹底したほか、在庫回転率向上による保管費の減少、移送の効率化などコストの抑制に取り組みました。海外事業では、既存店の強化に努めるとともに、不採算店舗の閉店や価格改定、本社経費の抑制など収益性の改善に取り組みました。

また、ＥＳＧの観点から当社グループのマテリアリティ（重要課題）のテーマを、①食と健康、②店舗と地域コミュニティ、③人材育成と支援、④地球環境の４つに定め、事業活動を通じて社会に向けた価値創造に取り組んでおります。

これらの結果、当連結会計年度の連結業績は売上高が961億85百万円(前年度比3.4%増)、営業利益52億23百万円(同24.8%増)、経常利益55億69百万円(同26.8%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は31億50百万円(同22.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

＜国内モスバーガー事業＞

国内モスバーガー事業では、お客様のニーズに合わせた商品開発、マーケティング展開に加え、お客様との接点の質と量を強化し、地域に密着した店舗運営を推進したことで、既存店売上高・客数・客単価が前年度を上回りました。

モスバーガー既存店及び全店実績（2024年４月～2025年３月）　（前年度比）

既存店売上高	既存店客数	既存店客単価	全店売上高
104.3%	102.5%	101.8%	105.4%

①　商品・マーケティング施策

当連結会計年度においては、日本の食文化を大切にした商品開発と、「和ごころエンジョイ」をキャッチフレーズにしたマーケティングを展開いたしました。

春キャンペーン	日本の良さを存分に楽しめる高付加価値バーガーとして、国産牛100%使用のパティを使用した“新とびきり”シリーズを３月下旬から販売いたしました。５月には、国産素材にこだわった専用の“照りやきソース”を使用した「新とびきり 謹製 とろったま照りやき ～北海道チーズ～」を販売いたしました。
夏キャンペーン	当社の看板商品「モスバーガー」をアレンジし、こだわりのチーズソースをふんだんにかけた、真っ白なビジュアルが目を引く、夏の定番商品「白いモスバーガー」を販売いたしました。
秋キャンペーン	月見商戦で盛り上がる９月には、昔ながらの秋の風物詩である「お月見」をイメージした季節定番の「月見フォカッチャ」と“裏月見”を訴求した「メンチカツフォカッチャ」を販売いたしました。
冬キャンペーン	11月より、日本の良さを存分に楽しめる高付加価値バーガーとして、国産牛100%使用のパティを使用した「新とびきりアボカド」や、一頭買いした黒毛和牛の希少部位を含めた19部位全てをパティに使用した「一頭買い 黒毛和牛バーガー ～山わさび醤油仕立て～」を販売いたしました。

地域限定商品	日本で生まれたハンバーガーチェーンとして、日本各地の食材や特色を活かした魅力ある商品を、エリア限定商品として展開いたしました。 「淡路島産 たまねぎバーガー 和風しょうゆ仕立て」 「新とびきり 大盛りトマト モス野菜チーズバーガー」（※地域産トマト使用） 「新とびきり 大盛りトマト チリバーガー」（※地域産トマト使用） 「金沢カレーカツバーガー」 「みそグラチキンバーガー ～静岡県産サラダほうれん草使用～」

② 店舗施策

居心地の良い店舗空間づくりを推進したほか、カフェ需要に対応して、ドリンクやスイーツを充実させました。さらに、店舗スタッフの業務手順の見直しや、焼成などオペレーションの時間短縮が可能な厨房機器を導入することで生産性を向上させ、お客様への商品提供時間の短縮に取り組みました。また、店舗看板を視認性の高いシンプルなデザインに順次リニューアルしております。

出退店実績（2024年４月～2025年３月）　（2024年３月末比）

出店数	退店数	店舗数	増減
26	18	1,321	＋8

③ デジタル技術の活用

デジタル技術を活用し、ＣＸ（お客様の体験価値）とＥＸ（社員や店舗メンバーの働きがい）の向上を目指しております。お客様の利便性向上に向けた取り組みとしては、レジに並ばず注文できる「お席で注文」を全店に導入いたしました。さらに、将来の人手不足を見据えた対策として「フルセルフレジ」の導入や、デジタルサイネージを活用したドライブスルーでの注文時間の短縮に取り組みました。

④ 新たな事業展開

マーチャンダイジング事業では、ＥＣサイト「モスライスバーガー専門店」において、海外の料理をヒントに開発した新商品を販売し、商品ラインナップの充実を図っております。また、新たなチャネル獲得の取り組みとして、当社監修商品を他社チャネルで販売いたしました。

今後も取り組みを拡大し、ブランドの価値向上とともに、新たな収益源へと育ててまいります。

⑤ ＥＳＧへの取り組み

モスグループの各事業を通じて社会課題の解決に貢献するために、環境・社会・ガバナンス（ＥＳＧ）の観点からマテリアリティ（重要課題）を特定し、サステナビリティ経営を通じてさらなる企業価値の向上を推進しております。

主な取り組み（2024年４月～2025年３月）

「こどモス」プロジェクトを開始	2024年５月から全国のモスバーガー店舗で「こどモス文庫」や「こどモス優先席」を設置するなど、お子様連れのお客様がモスバーガー店舗でのひとときをこれまで以上に楽しんでいただくための子育て応援施策「こどモス」プロジェクトを開始いたしました。
静岡、長野のモスファームで温室効果ガス排出量の削減貢献率20%を達成	温室効果ガス排出量を削減した野菜の生産を積極的に推進しております。「モスファームすずなり」（静岡県）と「モスファーム信州」（長野県）で生産するレタスが温室効果ガスの排出量を地域の標準的な農法と比べて20%以上削減していることが認められ、農林水産省が推進している『温室効果ガス削減の「見える化」ラベル』（愛称：みえるらべる）の星３つを取得いたしました。

ドリンクスタンド 「Stand by Mos」をオープン	「健康」「エシカル」「モスの野菜」をテーマに、主に規格外品などで廃棄されてしまう野菜を使用したドリンクを販売する新業態のドリンクスタンド「Stand by Mos」（スタンドバイモス）を、東武東上線「池袋駅」の改札内に2024年８月にオープンいたしました。
「新潟MOSごと美術館2024」の 作品をカップデザインに初採用	障がいのある方々が描いたアート作品を店舗に展示する「新潟MOSごと美術館2024」の作品の中から、新潟県佐渡市在住の前田優作さん作『Fire works』及び『秋桜と朱鷺』をコールドドリンク紙カップのデザインに採用し、新潟県の全店舗と原宿表参道店（東京都渋谷区）にて、2024年９月中旬から数量限定で提供いたしました。
音楽レーベル “MOS RECORDS”を設立	2024年４月から全国のモスバーガー店舗で働くスタッフ（社員・キャスト）を対象に、次世代アーティスト・クリエイターを発掘・応援・共創する“MOS RECORDS”（モスレコーズ）プロジェクトを開始し、働く環境の魅力化と人材確保に取り組みました。９月には100名もの応募者が参加した第１回オーディションにて選ばれたアーティスト「Lui」（ルイ）がデビューしました。
規格外トマトや間伐材を使用した ふるさと納税返礼品を提供開始	熊本県八代市の返礼品として「モスバーガー厳選 規格外トマトのスパイシーチキンカレー」、長野県松川町の返礼品として間伐材を使用した「森を育てるIDケース」「森からうまれたリルモスのピンバッジ」の提供を2024年11月から開始いたしました。
「愛のモスボックス贈呈式」を 実施	全国の店舗に設置している募金箱「愛のモスボックス」に、お客様から寄せられた募金を公益財団法人アイメイト協会及び一般社団法人日本フードサービス協会の「ジェフ愛の募金」に寄付いたしました。

以上の事業活動の結果、国内モスバーガー事業の売上高は766億26百万円(前年度比4.4%増)となり、セグメント利益（営業利益）は63億89百万円(同9.0%増)となりました。

＜海外事業＞

海外事業では、商圏の変化及び人流の変化に合わせた不採算店舗の閉店や既存店の改装、本社経費の抑制など、収益性改善に取り組み、セグメント利益（営業利益）は前年度を上回りました。

マーケティングは、日本の食文化を大切にした定番商品に加え、現地の嗜好を取り入れたローカライズ商品を販売するなど、地元のお客様にも愛される、地域に根差した店舗展開を進めております。

海外店舗数増減

国・地域名	2023年12月末時点	2024年12月末時点	増減数
台湾	305	299	△6
香港	49	43	△6
シンガポール	42	36	△6
タイ	29	24	△5
韓国	14	13	△1
フィリピン	8	7	△1
中国	6	－	△6
オーストラリア	3	－	△3
合計	456	422	△34

※海外事業に属する関係会社の会計期間は2024年１月から12月であるため、同期間の情報を記載しております。

※選択と集中の結果、中国の店舗は2024年７月をもって、オーストラリアの店舗は2024年９月をもって全店閉店しております。

以上の事業活動の結果、海外事業の売上高は166億８百万円(前年度比1.2%減)、セグメント利益（営業利益）は４億86百万円(同４億62百万円の利益増)となりました。

＜その他飲食事業＞

その他飲食事業は、不採算店舗の閉店や商品力の強化、サービス品質の向上を図り、収益性の改善を進めております。

９月に関東初出店となる「カフェ 山と海と太陽 アトレ亀戸店」をオープンしたほか、10月には、モスバーガーとミスタードーナツのコラボレーション店舗「MOSDO（モスド）ららぽーと新三郷店」をオープンいたしました。３月には、こだわりの玄米定食が気軽に楽しめる「玄米食堂あえん 川口駅前店」をオープンいたしました。

その他飲食事業概要　（2025年３月末時点）

事業	事業の内容	店舗数
マザーリーフ	スリランカの茶園直送の紅茶とアメリカンワッフルを提供する紅茶専門店	4
マザーリーフ ティースタイル	新しい紅茶のスタイルを提案するセルフスタイルカフェ	7
モスド	モスバーガーとミスタードーナツとのコラボレーションショップ ※「ららぽーと新三郷店」オープン（10月）	2
モスプレミアム	グルメバーガーとお酒が楽しめるフルサービスレストラン	2
カフェ 山と海と太陽	バリエーション豊かなドリンクとハンバーガーを提供するカフェ店舗 ※「アトレ亀戸店」オープン（９月）	2
あえん	四季折々の旬菜料理を提供する和風レストラン	4
玄米食堂あえん	こだわりの玄米定食をメインにした食堂タイプの「あえん」 ※「川口駅前店」オープン（３月）	3
	合計	24

以上の事業活動の結果、その他飲食事業の売上高は18億５百万円(前年度比1.8%減)、セグメント損失（営業損失）は１億９百万円(同17百万円の損失増)となりました。

＜その他の事業＞

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスは衛生管理、株式会社モスクレジットはＦＣ加盟店を対象とした機器レンタルや保険・金融、株式会社モスシャインはグループ内業務のアウトソーシング等により主に国内モスバーガー事業やその他飲食事業を支援しております。

これらによるその他の事業の売上高は11億44百万円(前年度比11.5%増)となり、セグメント利益（営業利益）は５億91百万円(同18.5%増)となりました。

（２）当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度に比べ８億65百万円増加し、805億76百万円となりました。流動資産は前連結会計年度に比べ39億56百万円増加し、固定資産は30億91百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、現金及び預金が増加したこと、売上の増加により売掛金が増加したこと及びキャッシュレス決済増加により未収入金が増加したことによるものであります。固定資産が減少した主な理由は、時価の変動等によって投資有価証券が減少したこと及び減損損失の計上等により有形固定資産が減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度に比べ13億74百万円減少し、262億50百万円となりました。この減少の主な理由は、仕入債務や未払金が増加した一方で、リース債務及び借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ22億39百万円増加し、543億26百万円となりました。この増加の主な理由は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上によるものであります。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末65.0%から当連結会計年度末は67.1%と2.1ポイント増加しております。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フロー73億46百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△16億42百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△37億30百万円等により、前連結会計年度末に比べ21億31百万円増加し、252億87百万円(前年度比9.2%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主として、売上債権、棚卸資産、仕入債務等の運転資金の増減に加え、法人税等の支払額の増加により資金が減少したため、前連結会計年度に比べ28億14百万円減少し、73億46百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主として、投資有価証券の売却による収入の減少によって資金が減少した一方で、出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が減少したことにより資金が増加したため、前連結会計年度に比べ４億93百万円増加し、△16億42百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主として、短期借入金の純増減額の増加及びリース債務の返済による支出の減少により資金が増加したため、前連結会計年度に比べ２億13百万円増加し、△37億30百万円となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2021年３月期	2022年３月期	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期
自己資本比率(%)	69.6	69.4	64.3	65.0	67.1
時価ベースの自己資本比率(%)	154.6	128.0	124.4	132.5	140.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.2	0.4	5.3	0.7	0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	33.9	88.1	12.6	62.2	45.5

自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利息支払額

１．いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
２．株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
３．キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。
４．有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（４）今後の見通し

当社は、創業当時から50年以上に渡り「モスの心」が持つ価値観が全従業員に共有され、浸透しております。この度、「モスバーガー基本方針」に込められた私たちが大切にする精神を、商品やサービスを通じて世界のお客様にお伝えしていくため、新たな３ヶ年の中期経営計画を策定いたしました。

中長期のモスグループのありたい姿として、『「心のやすらぎ」「ほのぼのとした暖かさ」を、世界の人々に』を実現し、世界が注目する外食のアジアオンリーワン企業になる、を掲げました。

その実現に向け、主力事業である国内モスバーガー事業、海外事業については、１店舗あたりの収益性を高めることに取り組んでまいります。また、マーチャンダイジング事業、新規飲食事業、衛生事業については、主力事業に次ぐ新たな事業の柱として育成してまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高は970億円、営業利益52億50百万円、経常利益54億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益29億円といたします。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様への積極的な利益還元を経営の重要課題と位置付けております。業績や経営環境との連動を図りつつ、安定的な利益還元を継続することを基本方針としております。

この基本方針と今回の業績状況に鑑み、期末配当金につきましては、１株あたり15円とし、年間配当金30円を予定しております。

今後とも業績の拡大を図りつつ、事業の発展を通じて積極的な利益還元を行い、株主の皆様に報いていく所存であります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては国内外の諸情勢を注視しつつ、国際会計基準の適用について適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当連結会計年度 (2025年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,182	25,300
受取手形、売掛金及び契約資産	6,848	7,847
有価証券	389	716
商品及び製品	4,185	3,940
原材料及び貯蔵品	547	662
未収入金	4,204	4,793
その他	432	486
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	39,773	43,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,226	6,772
機械装置及び運搬具（純額）	121	195
工具、器具及び備品（純額）	3,725	3,801
土地	1,043	1,054
建設仮勘定	187	145
有形固定資産合計	13,305	11,969
無形固定資産		
その他	2,350	2,211
無形固定資産合計	2,350	2,211
投資その他の資産		
投資有価証券	15,267	14,067
長期貸付金	1,363	1,104
差入保証金	5,150	5,032
繰延税金資産	77	73
その他	2,495	2,428
貸倒引当金	△54	△25
投資損失引当金	△19	△16
投資その他の資産合計	24,281	22,665
固定資産合計	39,937	36,846
資産合計	79,711	80,576

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当連結会計年度 (2025年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,650	5,895
短期借入金	92	295
リース債務	2,052	1,685
未払金	5,555	6,528
未払法人税等	1,110	1,224
賞与引当金	494	557
ポイント引当金	88	96
資産除去債務	53	52
その他	3,575	3,049
流動負債合計	18,673	19,385
固定負債		
長期借入金	2,899	2,160
リース債務	2,136	1,288
繰延税金負債	596	261
役員株式給付引当金	－	17
株式給付引当金	211	219
退職給付に係る負債	316	158
資産除去債務	905	891
その他	1,886	1,867
固定負債合計	8,952	6,865
負債合計	27,625	26,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412	11,412
資本剰余金	11,058	11,119
利益剰余金	26,168	28,411
自己株式	△1,750	△1,788
株主資本合計	46,889	49,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885	2,362
為替換算調整勘定	2,031	2,447
退職給付に係る調整累計額	23	82
その他の包括利益累計額合計	4,940	4,892
非支配株主持分	256	279
純資産合計	52,086	54,326
負債純資産合計	79,711	80,576

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
売上高	93,058	96,185
売上原価	49,152	50,738
売上総利益	43,906	45,447
販売費及び一般管理費	39,721	40,223
営業利益	4,185	5,223
営業外収益		
受取利息	86	104
受取配当金	93	134
設備賃貸料	299	239
持分法による投資利益	－	19
プリペイドカード退蔵益	69	82
その他	196	223
営業外収益合計	744	803
営業外費用		
支払利息	163	161
設備賃貸費用	200	163
持分法による投資損失	50	－
支払手数料	83	75
その他	39	57
営業外費用合計	538	458
経常利益	4,392	5,569
特別利益		
固定資産売却益	292	302
投資有価証券売却益	800	42
関係会社出資金売却益	－	1
関係会社清算益	27	－
特別利益合計	1,119	345
特別損失		
固定資産売却損	4	1
固定資産除却損	62	138
減損損失	1,262	1,045
投資有価証券評価損	34	12
投資損失引当金繰入額	2	2
特別損失合計	1,366	1,200
税金等調整前当期純利益	4,145	4,714
法人税、住民税及び事業税	1,361	1,650
法人税等調整額	204	△103
法人税等合計	1,566	1,547
当期純利益	2,579	3,167
非支配株主に帰属する当期純利益	5	17
親会社株主に帰属する当期純利益	2,573	3,150

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
当期純利益	2,579	3,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,499	△661
為替換算調整勘定	296	278
退職給付に係る調整額	△8	54
持分法適用会社に対する持分相当額	513	291
その他の包括利益合計	2,300	△37
包括利益	4,879	3,130
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	4,858	3,101
非支配株主に係る包括利益	20	28

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2023年４月１日　至　2024年３月31日)

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,412	11,089	24,470	△1,773	45,199
当期変動額					
剰余金の配当			△875		△875
親会社株主に帰属する当期純利益			2,573		2,573
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		22	24
過年度持分の増減に係る税効果調整		△32			△32
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△30	1,698	22	1,689
当期末残高	11,412	11,058	26,168	△1,750	46,889

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,019	1,594	42	2,656	235	48,091
当期変動額						
剰余金の配当						△875
親会社株主に帰属する当期純利益						2,573
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						24
過年度持分の増減に係る税効果調整						△32
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,866	437	△19	2,284	20	2,305
当期変動額合計	1,866	437	△19	2,284	20	3,995
当期末残高	2,885	2,031	23	4,940	256	52,086

当連結会計年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,412	11,058	26,168	△1,750	46,889
当期変動額					
剰余金の配当			△907		△907
親会社株主に帰属する当期純利益			3,150		3,150
自己株式の取得				△100	△100
自己株式の処分		60		62	123
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	60	2,242	△37	2,265
当期末残高	11,412	11,119	28,411	△1,788	49,155

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,885	2,031	23	4,940	256	52,086
当期変動額						
剰余金の配当						△907
親会社株主に帰属する当期純利益						3,150
自己株式の取得						△100
自己株式の処分						123
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△523	415	59	△48	22	△25
当期変動額合計	△523	415	59	△48	22	2,239
当期末残高	2,362	2,447	82	4,892	279	54,326

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,145	4,714
減価償却費	4,775	4,292
減損損失	1,262	1,045
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7	△0
投資損失引当金の増減額（△は減少）	△12	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2	60
ポイント引当金の増減額（△は減少）	6	7
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	△4	17
株式給付引当金の増減額（△は減少）	5	8
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△84	△76
受取利息及び受取配当金	△180	△239
支払利息	163	161
持分法による投資損益（△は益）	50	△19
固定資産除売却損益（△は益）	△225	△162
投資有価証券売却損益（△は益）	△800	△42
売上債権の増減額（△は増加）	△635	△960
棚卸資産の増減額（△は増加）	661	224
仕入債務の増減額（△は減少）	209	192
その他	1,114	△580
小計	10,458	8,640
利息及び配当金の受取額	275	314
利息の支払額	△163	△161
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△410	△1,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,160	7,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,760	△2,266
有形固定資産の売却による収入	638	555
無形固定資産の取得による支出	△656	△494
貸付けによる支出	△252	△71
貸付金の回収による収入	384	322
投資有価証券の取得による支出	△101	△290
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,533	510
定期預金の預入による支出	△1	－
その他	79	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,135	△1,642

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当連結会計年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	195
長期借入金の返済による支出	△733	△741
リース債務の返済による支出	△2,359	△2,299
自己株式の取得による支出	△0	△100
自己株式の売却による収入	10	109
配当金の支払額	△875	△907
その他	14	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,944	△3,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	157
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,124	2,131
現金及び現金同等物の期首残高	19,031	23,155
現金及び現金同等物の期末残高	23,155	25,287

（５）連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

連結貸借対照表の一覧性及び明瞭性を高める観点から表示方法の見直しを行い、前連結会計年度において区分掲記していた有形固定資産の「減価償却累計額」は、当連結会計年度において、各資産項目の金額から直接控除して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、有形固定資産に表示していた「建物及び構築物」21,844百万円、「減価償却累計額」△13,617百万円、「機械装置及び運搬具」366百万円、「減価償却累計額」△244百万円、「工具、器具及び備品」9,986百万円、「減価償却累計額」△6,261百万円は、「建物及び構築物（純額）」8,226百万円、「機械装置及び運搬具（純額）」121百万円、「工具、器具及び備品（純額）」3,725百万円として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

連結損益計算書の一覧性及び明瞭性を高める観点から表示方法の見直しを行い、前連結会計年度において営業外収益の「雑収入」として掲記していたものを営業外収益の「その他」に、営業外費用の「雑支出」として掲記していたものを営業外費用の「その他」に名称を変更して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、営業外収益に表示していた「雑収入」196百万円は営業外収益「その他」196百万円とし、営業外費用に表示していた「雑支出」39百万円は営業外費用「その他」39百万円として組み替えております。

(追加情報)

(株式付与ＥＳＯＰ信託について)

従業員に中期経営計画への参画意識を持たせ、中長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚を図ることにより、堅実な成長と中長期的な企業価値の増大を促すことを目的として、当社及び当社グループ従業員(以下「従業員」という)を対象とした従業員インセンティブ・プラン「株式付与ＥＳＯＰ信託」を導入しております。

１．取引の概要

本制度では、株式付与ＥＳＯＰ(Employee Stock Ownership Plan)信託(以下「ＥＳＯＰ信託」)と称される仕組みを採用しております。ＥＳＯＰ信託とは、米国のＥＳＯＰ制度を参考にした従業員インセンティブ・プランであり、ＥＳＯＰ信託が取得した当社株式を、予め定める株式交付規程に基づき、一定の要件を充足する従業員に交付するものであります。なお、当該信託が取得する当社株式の取得資金は全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

ＥＳＯＰ信託の導入により、従業員は当社株式の株価上昇による経済的な利益を収受することができるため、株価を意識した従業員の業務遂行を促すとともに、従業員の勤労意欲を高める効果が期待できます。また、ＥＳＯＰ信託の信託財産に属する当社株式に係る議決権行使は、受益者候補である従業員の意思が反映される仕組みであり、従業員の経営参画を促す企業価値向上プランとして有効であります。

２．信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度292百万円、103千株、当連結会計年度270百万円、95千株であります。

(役員報酬ＢＩＰ信託について)

当社取締役を対象に、当社の中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めることを目的として、「役員報酬ＢＩＰ信託」制度を導入しております。

１．取引の概要

本制度としては、役員報酬ＢＩＰ(Board Incentive Plan)信託(以下「ＢＩＰ信託」という)と称される仕組みを採用しております。ＢＩＰ信託とは、米国の業績連動型の株式報酬(Performance Share)制度及び譲渡制限付株式報酬(Restricted Stock)制度を参考にした役員に対するインセンティブ・プランであり、役位及び業績目標の達成度等に応じて取締役にＢＩＰ信託により取得した当社株式を交付するものであります。

当社は、取締役及び一部の執行役員（以下「取締役等」という）のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定しております。当該信託は予め定める役員株式交付規程に基づき取締役等に交付すると見込まれる数の当社株式を、当社(自己株式処分)または株式市場から取得しております。

当社は役員株式交付規程に従い、取締役等に対し各事業年度の役位及び中期経営計画で掲げる業績目標の達成度に応じてポイントを付与し、原則として、取締役等の退任時に累積ポイントに相当する当社株式を当該信託を通じて無償で交付いたします。

２．信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度29百万円、９千株、当連結会計年度129百万円、38千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にフランチャイズシステムによる飲食店の事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、「国内モスバーガー事業」、「海外事業」、「その他飲食事業」及び「その他の事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「国内モスバーガー事業」は主に国内で「モスバーガー」等の商標を使用した飲食事業を行っております。「海外事業」は主に海外で「モスバーガー」等の商標を使用した飲食事業を行っております。「その他飲食事業」は、「マザーリーフ」「あえん」「モスプレミアム」等の商標を使用した飲食事業を行っております。「その他の事業」は、上記飲食事業をサポートする衛生業、金融業、保険業等を行っております。各報告セグメントの主な製品・サービスは、次のとおりであります。

報告セグメント	区分に属する主要な製品等の名称
国内モスバーガー事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、バンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
海外事業	ハンバーガー、ライスバーガー、モスチキン、スープ、ドリンク等及びパティ、バンズ、ポテト等の食材並びにカップ、パッケージ等の包装資材
その他飲食事業	紅茶、ワッフル、パスタ、スイーツ、和風旬菜料理等
その他の事業	食品衛生検査、金銭貸付、保険代理、レンタル、グループ内アウトソーシング

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2023年４月１日　至　2024年３月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)３
	国内モスバーガー事業	海外事業	その他飲食事業	その他の事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	73,380	16,813	1,838	1,026	93,058	―	93,058
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	160	91	113	1,402	1,768	△1,768	―
計	73,540	16,905	1,952	2,428	94,826	△1,768	93,058
セグメント利益又は損失(△)	5,862	23	△92	499	6,292	△2,107	4,185
セグメント資産	52,254	13,507	215	4,972	70,951	8,759	79,711
その他の項目							
減価償却費(注)２	1,503	2,535	46	640	4,725	49	4,775
持分法投資利益又は損失(△)	14	△65	―	―	△50	―	△50
減損損失	327	888	46	―	1,262	―	1,262
持分法適用会社への投資額	557	3,381	―	―	3,938	―	3,938
有形固定資産及び無形固定資産の増加額(注)２	2,629	2,770	101	308	5,809	23	5,832

(注) １．調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,107百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,061百万円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

(2) セグメント資産の調整額8,759百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産12,008百万円を含んでおります。全社資産の主なものは、当社での余裕運転資金(投資有価証券)等であります。

(3) 減価償却費の調整額49百万円は、全社資産に係る償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額23百万円は、本社設備等の設備投資額であります。

２．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、それぞれ長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

３．セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)３
	国内モスバーガー事業	海外事業	その他飲食事業	その他の事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	76,626	16,608	1,805	1,144	96,185	―	96,185
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	185	1	126	1,466	1,779	△1,779	―
計	76,812	16,610	1,931	2,611	97,965	△1,779	96,185
セグメント利益又は損失(△)	6,389	486	△109	591	7,357	△2,133	5,223
セグメント資産	54,087	13,120	281	4,761	72,251	8,325	80,576
その他の項目							
減価償却費(注)２	1,541	2,068	44	586	4,241	50	4,292
持分法投資利益又は損失(△)	72	△53	―	―	19	―	19
減損損失	271	714	59	―	1,045	―	1,045
持分法適用会社への投資額	626	3,738	―	―	4,364	―	4,364
有形固定資産及び無形固定資産の増加額(注)２	1,831	1,165	186	849	4,032	30	4,062

(注) １．調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,133百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,081百万円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

(2) セグメント資産の調整額8,325百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産10,640百万円を含んでおります。全社資産の主なものは、当社での余裕運転資金(投資有価証券)等であります。

(3) 減価償却費の調整額50百万円は、全社資産に係る償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額30百万円は、本社設備等の設備投資額であります。

２．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、それぞれ長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

３．セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
１株当たり純資産	1,680.16円	1,751.71円
１株当たり当期純利益	83.45円	102.10円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．１株当たり当期純利益の算定上、株主資本において自己株式として計上されている株式付与ＥＳＯＰ信託口及び役員報酬ＢＩＰ信託口が所有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度117千株、当連結会計年度126千株)。
３．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,573	3,150
普通株主に帰属しない金額(百万円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,573	3,150
期中平均株式数(千株)	30,844	30,852

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．個別財務諸表

（１）貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 (2024年３月31日)	当事業年度 (2025年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,628	20,520
売掛金	6,213	6,842
有価証券	389	716
商品及び製品	2,958	2,933
原材料及び貯蔵品	9	11
未収入金	4,786	5,422
その他	1,305	1,602
貸倒引当金	△0	△105
流動資産合計	34,291	37,943
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,964	3,995
構築物	78	70
車両運搬具	6	10
工具、器具及び備品	1,176	1,165
土地	752	752
建設仮勘定	121	59
有形固定資産合計	6,100	6,054
無形固定資産		
その他	2,329	2,208
無形固定資産合計	2,329	2,208
投資その他の資産		
投資有価証券	11,259	9,645
関係会社株式	5,560	5,366
長期貸付金	397	1,843
差入保証金	4,106	4,100
その他	2,501	2,410
貸倒引当金	△54	△25
投資損失引当金	△297	△233
投資その他の資産合計	23,473	23,106
固定資産合計	31,903	31,370
資産合計	66,194	69,314

（単位：百万円）

	前事業年度 (2024年３月31日)	当事業年度 (2025年３月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,903	5,400
短期借入金	－	1,500
リース債務	2	3
未払金	5,929	7,031
未払法人税等	1,033	1,044
賞与引当金	347	372
ポイント引当金	88	96
資産除去債務	42	5
その他	2,369	1,975
流動負債合計	14,718	17,429
固定負債		
長期借入金	2,880	2,160
リース債務	7	7
繰延税金負債	427	43
役員株式給付引当金	－	17
株式給付引当金	153	155
退職給付引当金	354	277
資産除去債務	440	455
その他	1,910	1,950
固定負債合計	6,173	5,068
負債合計	20,891	22,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412	11,412
資本剰余金		
資本準備金	11,100	11,100
その他資本剰余金	201	262
資本剰余金合計	11,302	11,363
利益剰余金		
利益準備金	798	798
その他利益剰余金		
別途積立金	12,000	12,000
繰越利益剰余金	8,632	10,783
利益剰余金合計	21,430	23,582
自己株式	△1,364	△1,401
株主資本合計	42,781	44,956
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,521	1,859
評価・換算差額等合計	2,521	1,859
純資産合計	45,302	46,815
負債純資産合計	66,194	69,314

（２）損益計算書

（単位：百万円）

	前事業年度 （自 2023年４月１日 至 2024年３月31日）	当事業年度 （自 2024年４月１日 至 2025年３月31日）
売上高	66,281	69,153
売上原価	40,235	42,166
売上総利益	26,046	26,987
販売費及び一般管理費	21,393	22,070
営業利益	4,652	4,917
営業外収益		
受取利息	84	119
受取配当金	400	393
設備賃貸料	2,031	2,039
その他	192	202
営業外収益合計	2,709	2,754
営業外費用		
支払利息	14	19
設備賃貸費用	2,806	2,738
その他	94	115
営業外費用合計	2,915	2,873
経常利益	4,447	4,798
特別利益		
固定資産売却益	258	302
投資有価証券売却益	796	42
関係会社株式売却益	－	0
関係会社出資金売却益	3	0
投資損失引当金戻入額	－	1
特別利益合計	1,058	346
特別損失		
固定資産売却損	4	1
固定資産除却損	30	45
減損損失	373	331
投資有価証券評価損	0	－
関係会社株式評価損	58	324
関係会社清算損	1	－
貸倒引当金繰入額	－	105
投資損失引当金繰入額	52	－
特別損失合計	522	807
税引前当期純利益	4,983	4,337
法人税、住民税及び事業税	1,184	1,406
法人税等調整額	211	△127
法人税等合計	1,395	1,278
当期純利益	3,587	3,058

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自　2023年４月１日　至　2024年３月31日)

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	11,412	11,100	199	11,300	798	12,000	5,920	18,719
当期変動額								
剰余金の配当							△875	△875
当期純利益							3,587	3,587
自己株式の取得								
自己株式の処分			1	1				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	1	1	－	－	2,711	2,711
当期末残高	11,412	11,100	201	11,302	798	12,000	8,632	21,430

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,386	40,046	1,021	1,021	41,067
当期変動額					
剰余金の配当		△875			△875
当期純利益		3,587			3,587
自己株式の取得	△0	△0			△0
自己株式の処分	22	24			24
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			1,499	1,499	1,499
当期変動額合計	22	2,735	1,499	1,499	4,235
当期末残高	△1,364	42,781	2,521	2,521	45,302

当事業年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	11,412	11,100	201	11,302	798	12,000	8,632	21,430
当期変動額								
剰余金の配当							△907	△907
当期純利益							3,058	3,058
自己株式の取得								
自己株式の処分			60	60				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	60	60	－	－	2,151	2,151
当期末残高	11,412	11,100	262	11,363	798	12,000	10,783	23,582

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,364	42,781	2,521	2,521	45,302
当期変動額					
剰余金の配当		△907			△907
当期純利益		3,058			3,058
自己株式の取得	△100	△100			△100
自己株式の処分	62	123			123
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△661	△661	△661
当期変動額合計	△37	2,174	△661	△661	1,512
当期末残高	△1,401	44,956	1,859	1,859	46,815